

力強く挑戦する磐田へ

新たな事業

(2019年度実施)

(1)子育て支援・教育の充実

- ①ながふじ学府一体校の建設工事に着手
- ②全小中学校へエアコン設置
- ③こども・若者相談センターの開設
- ④産婦健診・産後ケアの導入
- ⑤こども園の施設整備への補助
- ⑥小規模保育所の施設整備への補助
- ⑦子どものトイレ環境改善（全保幼小中学校へ）
- ⑧磐田版「みんなで朝ごはん」研究事業の実施
- ⑨予防接種再接種費用助成制度の創設
- ⑩幼児教育の無償化（10月～）



小中一体校ながふじ学府完成イメージ
2021年4月開校予定

(2)市民生活の安全・安心の確保

- ①大規模停電対策の推進
- ②水害・土砂災害ハザードマップの作成
- ③海岸堤防の整備推進 ④救助工作車の更新
- ⑤避難所への井戸設置の推進
- ⑥農業用ため池の震災対策
- ⑦橋梁の補修・長寿命化の推進
- ⑧交流センター小中学校体育館のLED化



(仮称) 磐田市文化会館完成イメージ
2022年4月開館予定

(3)地域づくりの推進と福祉の充実

- ①（仮称）磐田市文化会館の建設工事に着手
- ②ラグビーワールドカップ 公認チームキャンプ 地の対応
- ③（仮称）磐田市自治基本条例制定の検討に着手
- ④市民文化会館等跡地の利活用懇話会の開催
- ⑤地域包括支援センターの機能強化
- ⑥障害者相談支援センターの増設
- ⑦小規模多機能型居宅介護施設整備への補助
- ⑧風しんの抗体検査・予防接種の推進
- ⑨プレミアム商品券の発行
- ⑩中古建物リフォーム助成制度の拡充
- ⑪道路区画線の集中補修
- ⑫移住・就業支援補助制度の開始



JR御厨駅の写真
2020年4月開業予定

(4)産業の育成と都市基盤の整備

- ①JR御厨駅の設置推進
- ②新東名磐田スマートインターの設置推進
- ③中小企業の事業承継への支援
- ④今之浦市有地等の整備に向け基本・実施設計
- ⑤公園の老朽化施設・遊具の更新
- ⑥次世代型農水産業の立地推進
- ⑦ワークピア磐田の改修
- ⑧ベトナムにおける企業の人材確保への支援

磐田市が進めている主な防災・津波対策

これまで進めてきた主な防災・津波対策事業

【ハード事業】

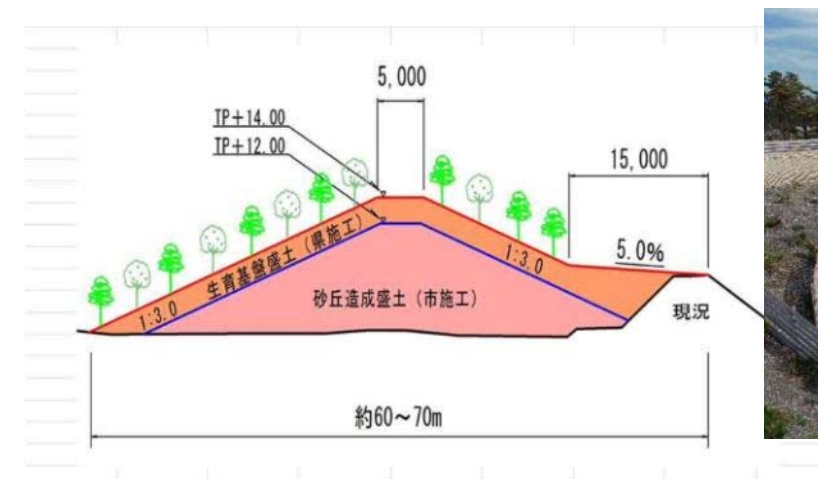
- ①中東遠消防指令センターの設置 ②津波避難施設誘導看板の設置
- ③防災センターの建設 ④津波避難タワー16か所の整備（公共10・民間6）
- ⑤豊浜小・福田中・竜洋東小の屋外階段設置と屋上の避難所化 ⑥福田こども園の整備
- ⑦幼小中学校施設耐震化工事完了 ⑧災害用マンホールトイレの整備（19か所）
- ⑨コミュニティ消防センターの建設（消防団再編） ⑩今之浦第4ポンプ場の整備
- ⑪外壁、吊り天井等の落下防止対策（保・幼・小・中学校の園児・児童・生徒の安全確保）
- ⑫橋梁の耐震補強工事（緊急輸送路L=15m以上のもの17橋中15橋を整備）
- ⑬同報無線のデジタル化（親局1基・中継局1基・子局323基完了）
- ⑭久保川治水プロジェクトの推進（久保川流域の浸水被害解消のためポンプ場と雨水幹線を整備）

【ソフト事業】

- ①津波避難ビルの使用覚書締結（89施設「ビル83・避難タワー6」）
- ②磐田市防災ファイル作成・配布
- ③原子力災害広域避難計画の策定
- ④いわたホットライン（同報無線の内容を携帯メールに配信）への登録推進（登録者2万5千人）
- ⑤木造住宅耐震補強へ助成
- ⑥玉野市・甲府市・鹿児島市との災害時相互応援協定の締結
- ⑦市町村広域災害ネットワーク災害時相互応援に関する協定に加入
- ⑧(株)セブンイレブン・ジャパンとの協定を締結
- ⑨消防庁舎将来構想の検討
- ⑩地域防災計画の見直し

現在進めている主な防災・津波対策事業

- ①防潮堤の整備推進
（静岡モデルで県と連携、地元企業の協力により土を確保済、1年でも早い完成を目指します）
- ②防災資機材や備蓄食糧の配備の見直し
- ③生活用水用井戸を設置 ④家具等固定への助成 ⑤大島排水ポンプ場の整備
- ⑥木造住宅の解体・耐震シェルター設置への助成
- ⑦感震ブレーカー設置への助成



防潮堤イメージ図



植樹後の防潮堤写真